

白衣宣伝に注目集まる

保団連近畿ブロックも参加する近畿総決起集会実行委員会が2025年11月1日、オール近畿アクション2025「STOP!命を奪う政治」を大阪市内で開き、近畿各県の保険医協会、全国民主医療機関連合会近畿地方協議会、社会保障推進協議会近畿ブロックなど、近畿各地から350人が参加した。協会から、戸井逸美、富本昌之、矢部あづさ各副理事長、江原豊、齋賀史郎、中村新太郎各理事と会員家族・スタッフ、事務局が参加した。



街宣で訴える協会・近畿ブロック役員他
＝11月1日、なんば駅周辺

集会では、兵庫県保険医協会が病床削減、公的病院の医協会の西山裕康理事長「統廃合、低診療報酬の問題

題、マイナ保険証の問題をテーマに報告したほか、政府の進める病院の統廃合が地域医療にどのような影響をもたらすかを、滋賀、京都、大阪各府県の地域団体が発言した。

「防衛費倍増よりも暮らし・福祉・教育への公的支出を優先させよ」と訴え閉会した。

動画とゼミで 分かりやすく

大阪府保険医協会の井上美佐副理事長が出演・製作に関わった動画「処方箋（OTC類似薬）の保険外し問題」上映と、佛教大学の長友薫輝准教授と学生による長友ゼミナール「若い人たちが共に考える社会保障」の模擬授業式の講演があった。最後にアピールで

街頭でも反応多数
集会后はなんば駅前・御堂筋周辺で「STOP

南河内に3次救急がなくなる

理事 齋賀 史郎

保険ありて医療なし

集会での基調報告、近畿圏内各地からの病院統廃合に対する取り組み、いずれも「保険ありて医療無し」を地で行く始末である。即ち医師が減り、病床は削減され、統廃合により身近な場所に病院がなくなり…。政治の不作為どころか政府が積極的に医療を潰しに掛

かっている証左である。大阪狭山社保協の橋本啓修会長が紹介されていた、大阪狭山市からの近大病院の全面撤退問題。その後、南河内医療圏では、三次救急・災害拠点病院がなくなる。南河内の医療を守るために7年もの間、80回を超える署名宣伝活動、大阪府・近大への署名・要望書提出、懇談に取り組んできたこと。

医療の本当こそ国の仕事

私は国というものに少しでも存在意義があるとすれば、最低限国民の生命・健康・財産を守れ！と強く主張する者である。アメリカから型落ちの武器を買うのが国防なのか、米不足の折に減反政策を推進するのが国家百年の計なのか。そうではなからう。医療の切り捨てを許さず、医療現場の人材を守り、医療が必要な人に医療を提供する。その手当てこそが国の仕事である。そしてこれらを実現するために我々は診療報酬の大幅アップを求めるべきである。「武器ではなく社会保障にこそ税金を使え！」これが我々の総意である。

病院つぶし」「医療を守れ！」のポスターを掲げたスタンディングを実施。街頭を通り過ぎる府民に加え、海外からの観光客も「STOP」の文字と白衣に反応し、写真を撮る姿も多数見られた。



3次元プリント有床義歯(3DFD)

期中改定 12月から保険適用



11月12日に開催された中医協総会で、3Dプリンタを用いて、上下同時に有床義歯を作製する場合、保険適用が認められる見込みとなった。今年12月1日の収載予定で期中改定となる。販売名は「ディーマプリントデンチャーティース」と「ディーマプリントデンチャ」が出る予定。

11月12日 中医協資料より

従来の保険証で資格確認

健保も含め3月まで可能に

厚労省は11月12日、事務連絡「マイナ保険証を基本とする仕組みへの移行について」を発売した。受診時に被保険者資格が有効であれば、全ての公的保険（国保、後期高齢者医療制度、社会保険）で、従来の健康保険証でも資格確認が可能とする。暫定措置は2026年3月末まで。

に、被保険者番号をオンライン資格確認システムで照会するなどした上で、その患者の所定の負担割合で支払いを求めらる。ただ、オンラインシステムでの資格確認は未だトラブルがあり、協会は従来の健康保険証の復活を引き続き求めている。

通知後、新ポスターを作成しました。協会ホームページからダウンロードできます。

12月には社会保険も含め従来の健康保険証の有効期限切れを迎える。新たな保険資格の確認方法が広く国民に周知徹底されているとは言い難く、府による今回の暫定措置の発出となった。

医療機関では、患者が従来の健康保険証しか持っていないような場合

「緊急財政措置と診療報酬の大幅引き上げを求める」
歯科医師署名はコチラ



不法滞在者
ゼロプランは
出入国在留管
理庁が2025
年5月、ルールを守ら
ない外国人により国民の
安心・安全が脅かされて
いる社会情勢を鑑み、不
法滞在者ゼロを目指し、
外国人と安心して暮らせ
る共生社会を実現する」
として始まった。強制退
去が確定した外国人を、
2030年末までに半減
させるといふ。3カ月
で、係官が同行する国費
での強制送還が昨年同期
に比べ倍増。日本で育っ
た子が送還されたり、親
子が離ればなれになるケ
ースが起きている。「ク
ルド人が多く住む埼玉で
地域社会と摩擦が起き、
国民の不安につながって
いる」などの政府の認識
がある。ゼロプランに対
しては日本弁護士連合会
が「国民の安全・安心に
何ら脅威を与えず、かつ
保護されるべき外国人の
人権を侵害する恐れが高
く、国際人権法に反す
る」と批判。「非正規滞
在者」治安悪化の要因
といった誤った認識の固
定化を招きかねない、と
も指摘した。国が率先し
て排外主義を進めている
ようなものだ。(Y)

詳細2面参照

歯初診・外安全・外感染・歯援診・口管
強に係る施設基準研修会12月21日(日)

2025年12月版歯科点数早見表
今号に同封しています

歯科点数早見表
ブリッジ保険適用

2025年12月号

全国保険医団体連合会

この講習会は会員限定となります

大阪府歯科保険医協会
会 武
発 和
行 田
人 武
大 幸
阪 2-2-20
市 幸
浪 4階
速 2-2-20
区 幸
幸 4階
町 幸
2-2-20
4階
電 話 (06) 6568-7731 (代表)
http://osk-hok.org/
● 定価・年間10,000円 月1,000円
● 1977年5月23日第三種郵便物認可

11/25
2025年第1540号
(毎月5、15、25日発行)

